



全日本自治団体労働組合  
北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区  
北6西7北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 佐々木直人

# えさき 選挙区 徳永が第一声



自治労組織内・全国比例区『えさきたかし』候補=6月22日、東京都・自治労会館前

## 第24回参議院議員選挙・公示 暴走する安倍政権にNO

6月22日(水)、第24回参議院議員選挙が公示された。『暴走する安倍政権にNOをつきつけるか否か』地方自治を守るか否か』が問われる重要な政治決戦だ。道本部が推せんする、全国比例区・自治労組織内候補『えさきたかし』、北海道選挙区候補『徳永エリ』がそれぞれ第一声をあげた。両候補の圧倒的勝利にむけ、組織の総力をあげて取り組もう。

### 地方自治を守る

第24回参議院議員選挙が公示された6月22日、全国比例区・自治労組織内候補『えさきたかし』と北海道選挙区候補『徳永エリ』は、18日間の選挙戦に突入した。えさき候補は、東京都・自治労会館前で行われた第一声で、『安倍独裁政治から、国民のための政治』に変えなければならぬ。全国を駆け回り、自治労の多くの仲間と

ともに、地方自治を守り、将来に希望を持てるような、日本の政治を必ずつくる。全身全霊をかけて勝利し、安倍政権をたおす』と決意を述べた。一方、北海道選挙区・徳永候補は、道庁赤レンガ前で第一声をあげ、『安倍政権に未来を託していいのか』その意思表示をするのが今回の選挙だ。必ず投票に行つてほしい。安倍政権に日

本・子どもたち・孫たちの未来は託せない。安倍政権にNOを突きつけよう』と呼びかけた。今参院選最大の争点は『暴走する安倍政権にNOを突きつける』ことだ。参議院で与党と改憲勢力に3分の2以上の議席を与えることになれば、憲法改正を許すことになる。平和と民主主義を取り戻し、『弱者・地方切り捨ての政治』から『国民が主役の当たり前の政治』を取り戻さなければならない。そのためには、自治労組織内・全国比例区『えさきたかし』、北海道選

第24回参院選が公示された。政治に無関心でも無関係ではられない。この言葉は全組合員の心には響かないかもしれない。しかし、日常の仕事や生活のすべてが政治の場で決まる。誰一人、政治と無関係ではられないのだ。も

### 朝風

う「やらない理由」を並べている場合ではない。地方自治・平和の危機は待たない状況だ。私たち自身のために、自治労組織内候補『えさき』を浸透させ、悔いのないたたかおう。何が何でも『えさき・徳永』の徹底だ!

投票日の前日  
7/9(土)  
→まで期日前投票←  
毎日が投票日

【7月9日(土)】  
徳永エリ・街頭大演説会  
(札幌市/18:30~すすきのラウンドワン前)  
徳永エリ・最終街頭演説  
(札幌市/19:40~昭和ビル前)  
【7月10日(日)】  
第24回参議院議員選挙投・開票日



北海道選挙区『徳永エリ』候補=6月22日、札幌市・道庁赤レンガ前

## 投票日は7月10日(日) あなたの一票ムダにしないで!

もし、選挙当日に予定があるあなたは「期日前投票」で事前に投票を済ませておこう。  
対象となるのは…  
①仕事や冠婚葬祭などで予定のある人  
②レジャーや旅行などの用事がある人  
③病気やけがなどの理由で歩行が困難な人  
投票期間…  
選挙期日の公示日又は告示日の翌日から選挙期日の前日までの間

### 「檄」

本日、第24回参議院議員選挙が公示され、18日間の選挙戦がスタートした。今回の参院選は、憲法改悪を許さず、戦後最大の危機を迎えている民主主義を安倍一強政治から取り戻すためである。

安倍政権は、前回の総選挙と同様に経済政策「アベノミクス」が最大の争点としているが、まったくのまやかしである。選挙戦の度に「争点隠し」を繰り返して、特定秘密保護法の強行採決を皮切りに、労働者派遣法の改悪、そして安全保障関連法の強行採決など、国民多数が反対していた政策を次々と強行している。

地方自治の現場においても「インセンティブ改革」や「トップランナー方式」を押し付け、交付税制度を悪用し国が地方自治体への支配を強化しようとしている。さらに消費税増税再延長で不足する社会保障費を公務員人件費削減で捻出する危険性もはらんでいる。

私たちは、安倍政権による立憲主義・民主主義、地方自治を日本国憲法の破壊を決して許さず、働くもの・生活者のための安全安心な社会の実現にむけて、国民の声が反映できる緊張感ある健全な国会運営を取り戻すことが必要である。

そのためにも参院選において、「民進党」を中心とする中道・リベラル勢力を大幅に拡大しなければならない。自治労は組織内『えさきたかし』の再選を勝ち取ることは無難であるが、圧倒的な勝利により自治労の組織力を示すことが重要である。

北海道選挙区は、今回の選挙から1議席増の定数3となり、有力5候補で議席を争うことが予想される。非常に厳しい選挙戦であるが、自治労北海道本部は推薦する選挙区「徳永エリ」の勝利、さらには比例区自治労の代表である『えさきたかし』の圧倒的勝利にむけ、組合員一人ひとりが総力を挙げて取り組み、最後まで粘り強くたたかおう。

2016年6月22日  
自治労北海道本部  
執行委員長 大出 彰良

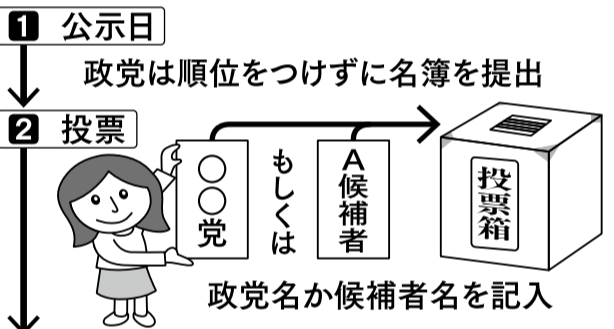
### 参議院比例区

# 候補者名が “有効”

## 候補者名の投票は 政党名の投票の2倍の効果

- 比例代表選挙の投票  
選挙区選挙は『候補者名』を記載しますが、比例代表選挙は『政党名』または『候補者名』を記載して投票することができます。
- 比例代表選挙の開票  
『候補者名の得票』と『政党名の得票』の合計で各政党の獲得議席の数が決まります。
- 当選の決定  
各政党に配分された獲得議席の数に応じて、『候補者名』の得票数の最も多い候補者から、順次当選人が決まります。
- つまり…  
『候補者名の得票』は、  
①『政党の総得票数を増やし、政党の獲得議席数増』につながる  
②『政党内の候補者の順位を押し上げ、当選に近づく』ということになります。

### 参院選 非拘束名簿式の仕組み



候補者名票と政党名票を合算した総得票数に応じて議席数を配分

	〇〇党	△△党	□□党
総得票数	2300万票	1600万票	700万票
獲得議席	20議席	14議席	7議席

候補者個人の得票数の多い順に当選

①	50万票	50万票	40万票
②	40万票	30万票	30万票
⑧	.....	.....	10万票 X
⑮	.....	17万票 X	
⑳	6万票 X		

※丸数字は得票数の順位

### 忙中余話

我が家の娘に言ったが、「知らないはこの夏の参院選で、人生初投票をする。彼女が初めて政治に關する。選挙の街演説会に私候補者は集まった人と次々に握手を交わし、娘も小さな手を差し出し握手をした。候補者は「お嬢ちゃん応援ありがとう。娘は興奮し「偉い人なんですよ？」と笑顔だった。数年が経ち、娘が小学校で友達に「〇〇さんと握手した」と自慢げ

に言ったが、「知らないよ」と言われたらしい。無理もない。相手は小学生。そんな彼女も20歳に近づいた。選挙権を得た。選挙の街演説会に私候補者は集まった人と次々に握手を交わし、娘も小さな手を差し出し握手をした。候補者は「お嬢ちゃん応援ありがとう。娘は興奮し「偉い人なんですよ？」と笑顔だった。数年が経ち、娘が小学校で友達に「〇〇さんと握手した」と自慢げ

(高久保雅子)

## 労北海道臨時・非常勤等職員連絡会議 総会 兼 全道交流集会



新役員のみなさん。1年間の方針を決定し、学習を深めた=6月18日、自治労会館

その後、活動方針と新役員体制を全会一致で確認した。

引き続き、開催した「全道交流集会」では、道本部組織強化・拡大推進室・松岡次長が「ひとのために生きよう！ 団結への道」と題し講演した。松岡次長は、「労働者は人間らしく生きるために

### 処遇改善 「政治の力」が不可欠

自治労北海道臨時・非常勤等職員連絡会議は、6月18日、自治労会館で「総会兼全道交流集会」を開き、18単組・総支部62人が参加した。

「総会」では、増田議長が「私たちの処遇を改善するには、法改正・法整備が必要であり、『政治の力』が不可欠だ。7月の参院選で、総力をあげて自治労組織内『えさきたかし』さんを再び国会へ送り出そう」とあいさつした。



石狩地本組織集会后に行われた「労働安全衛生学習会」。43人が参加した=6月17日、札幌市・青年会館

石狩地方本部は、6月17日、札幌市・青年会館で「労働安全衛生学習会」を開いた。

「職場のメンタルヘルスを改善するために」と題して、北海道労働安全衛生センター・松浦事務局長が講演した。

事務局が講演した。安全衛生の歴史に触れ、「1947年に労働安全衛生法が施行されて、労働による死亡者が激減してきたが、北海道では全国平均と比較して3倍の差がある」と指摘したうえで、「最近の公務災害では、現場力の低下による『危険感性の低下』が大きく、熟練労働者の不足や人員削減などが大きな原因になっている」と述べた。

さらに、「職場の安全衛生には、ストレスチェックの実施、労働組合の関与が重要だ。安全配慮義務違反で労働組合もその責任が問われることも認識しなければならぬ。産業医の存在も大きく、労組として、積極的に関与していくことで、公務災害ゼロにつながる」と強調した。

## 7月は「労働安全衛生月間」 労組の関与で『公務災害ゼロ』

法がどうなっているのかを学習すべきである。団結の『権』はたまたかうための『剣』である。今日の労働組合は課題も多いが、助け合い、支え合う関係をつくるのが大切。一人はみんなのため、みんなは一人のために」との原点を意識しよう」と述べた。また、「常に組織強化を意識し、『みんなで討議・決定・行動・学習』することが大事だ」と強調した。

その後、分散会を行い、今後の取り組みについて交流を深め、職場実態に「新役員体制」議長・増田光子（札幌病職労）、副議長・佐藤のみ子（札幌市労）、中谷子（くしろ児童厚生ユニオン）、事務局長・松本敦子（道本部）

## えさきさんの国会だより③ 絶対に勝つしかない!



元氣よく、全国遊説に出発する「えさき参議」11月22日

参院選が公示された。選挙の争点は、安倍政権の退陣だけでなく、市場原理主義に持ちこたうとする、経済界、学者、政治家とのたたかいでもある。『第二の安倍』がいつ出てくるかも分からない。だから、たまたま続けて勝利しなければならぬ。私たちが未来はつけない。

参院選の結果次第で、(6月23日、島根にて)

私たちの未来、子どもたちの未来、高齢者の未来、地方の未来が脅かされる危機があるからこそ、絶対に勝つしかないのだ。その中心に自治労の未来もある。

何としても勝利して、安倍政権をたたきつぶすしか、私たちの未来はつけない。

## 全道庁労連書記を募集しています!

応募方法は、全道庁労連HPをご覧ください  
URL⇒<http://www.zendocho.or.jp/>  
(応募期間)  
2016年8月1日(月) ~ 8月15日(月)必着  
☆お問い合わせは全道庁労連本部 [財政部] まで⇒011-756-8121